

◎終日事務所閉まります
ブロック書記研修会：12月15日(金)
仕事納め：12月28日(木) 午後
冬季休業：12月29日(金)～1月4日(木)
書記局会議：1月5日(金) 午後



第529号

発行所
東京土建一般労働組合
小金井国分寺支部
国分寺市東恋ヶ窪2-36-32
電話 042-324-5940
発行責任者
高橋 勇一



国①分会 ヨーヨーやバザー、お花プレゼント、包丁とぎ、工作、住宅相談2件



前原分会 うまい棒つかみ取り、包丁とぎ、まな板削り、工作



東小分会 お菓子つかみ取り、お花プレゼント、包丁とぎ、まな板削り、住宅相談3件



国②分会 苗花やサツマイモプレゼント、包丁とぎ、まな板削り、工作、住宅相談2件

多彩な催しで
「東京土建」を
地域にアピール



国③・国西分会 花や野菜プレゼント、ダーツ、包丁とぎ、まな板削り、工作、住宅相談2件



【小西分会・村田文夫】
小西分会では輪投げゲームを企画しました。景品にサンタクロースの赤い帽子ときれいに飛び交うシャボン玉を用意しました。大人も子供も共に青空の下で楽しめるゲームでした。



国④分会 包丁とぎ、まな板削り、住宅相談1件



小①分会 じゃがいも詰め放題、駄菓子つかみ放題、包丁とぎ、住宅相談1件

第46回

住宅デー

小金井・国分寺
8会場で開催
来場者 374人

11月19日(日)、小金井・国分寺市内8会場で開催しました。全体で98人の組合員・家族が参加し、374人の市民が来場しました。当日は天気にも恵まれ、各会場が工夫を凝らし、お菓子のつかみ取りやダーツなどの独自企画を行い盛り上がりしました。恒例の包丁とぎ、まな板削り、木工教室なども行い、市民に喜ばれました。住宅相談は14件ありました。小金井・国分寺両市の社会福祉協議会へのカンパは52,465円でした。



特選に輝いた受賞紙面

本部分会等機関紙コンクール
女性の会「すずらん」特選受賞

本部の2023年度・分会・青年・主婦・シニア機関紙コンクールの選考が11月12日の通信員総会で終わり、小金井国分寺支部・女性の会の9月5日発行の「すずらん」17号が特選に入選しました。
受賞、本当におめでとうございます。

▼師走を迎え、今年も残すところわずかとなりました。「師走」と聞くと冷たい空気が共に一年の終わりのせわしさが襲ってきますね▼町のあちこちからクリスマスソングが流れ、人々の足取りも速くなる時期です。なぜ、12月を「師走(しわす)」と呼ぶのでしょうか。もっとも有名なのが「師」が僧侶(お坊さん)を指すというもの。かつて12月は僧侶が各家を訪れて読経や仏事を行う時期でした。このため僧侶達が各地を駆け巡る事から、この月を「師が走る」月との意味で「師走」称されたと言われています▼今年の5月に新型コロナウイルスが5類に移行しました。その後から世間ではイベントやテーマパーク等(観光施設)・飲食店の規制が緩和されて国民の笑顔をみられる様になりました。支部でも春と秋にはボウリング交流会やBBQ交流会をやって春秋の仲間増やし月間で76名を迎え入れました。コロナ明けて、初めての師走を迎え忘年会も多いと思われませんが、お体に気をつけてお健やかにお過ごしください▼私は昨年の健康診断で再検査が出てしまい、大好きなお酒も余り飲めなく、今年度の支部の活動も出ていません。ただ健診を受けていなかったら病院にも行かなくて悪化していたと思います。皆さんも必ず1年に1度は健診を実施してください。

朝顔

発がん性あるPFAS対策強化を

9支部共催で危険性と対策学ぶ



講演を聞きPFASによる健康被害の状況に不安と驚き

11月11日(土)、都立多摩図書館で9支部共催による「PFAS問題について考える学習会」を開催し、「消された汚染水」の著者で、ジャーナリストの諸永裕司さんの講演を行いました。9支部から115人(支部から17人)が参加しました。PFAS(有機フッ素化合物)は、水や油をはじき、熱に強いという性質から、フライパンや火災時の泡消火剤などに使われてきました。

世界保健機関(WHO)の専門組織である国際がん研究機関(IARC)は、PFASの一種であるPFOAに喫煙やアスベスト並みに「発がん性がある」と認定。PFOSは「発がんの可能性がある」に分類認定しました。

地元の湧水で育った私 悲しくやり切れない

【国①分会・鯉淵 勝也】PFASの問題を意識し

始めたのはいつ頃からだろう。うか。いわゆる有機フッ素化合物は、水や油をはじき、熱に強いという性質から、フライパンや火災時の泡消火剤などに使われてきました。世界保健機関(WHO)の専門組織である国際がん研究機関(IARC)は、PFASの一種であるPFOAに喫煙やアスベスト並みに「発がん性がある」と認定。PFOSは「発がんの可能性がある」に分類認定しました。

「こんにちは」と声を掛けられあいさつを交わし、その際、同行の許可を得て行動を共にした。ガイドさんに滝山城はどのような城なのだろうと尋ねてみた。滝山城は高月城主・大石定重が永正18年(1521)年築いたという。定重の息子・定久は北条氏家の次男・氏照を養子とした。そのために北条氏照が滝山城主になったのである。やがて30歳の時に、武田信玄の軍に攻められ、苦戦する氏照は八王子城の建設を決意する。

篠ちゃん散歩

～500年前の山城想像し歩く～



滝山城跡バス停で降りて北に入ると、ひなびた田舎道が続く。やがて道は緩やかに山に上っていく。林道はよく手入れされているらしく歩きやすかった。そこで右手に上がると二の丸跡の広場に出た。ここから

長楽の会 久々の一泊大いに交流



みなさん良い笑顔ですね

化合物(パーフルオロアルキル化合物)は、1938年にデュポン社が滑り易く、分解しづらい、後にテフロン(の商標で知られる新素材を偶然発見し、米国防軍が原爆製造時、破損に耐え得るコーティング材として配管に利用しました。PFASの始まりは原爆投下という悲しく悲惨な物でした。1953年3M社がPFOS(パーフルオロオクタンサルホン酸)を発見し、数年後に、水成膜泡消火剤(AFFF)を完成させ、米国防総省が全軍での導入を決定し、日本を含む他国でも使用されるようになりました。問題は、米本土では危険な化学物質として使われない物が、日本では消火剤等で米軍基地の中で使われても立ち入り調査も出来ない現状。4年前に起きた3件もの横田基地での泡消火剤漏出事故は、責任者が交代して就任1年会見で協定に基づき基地内の調査にすぐに応ずる旨述べた所、東京都が先の漏出事故3件を公表したという顛末でした。

手前右が玉井さん 横川社長の話に熱心に聞き入る



古谷さん

あしば11月号 朝顔 読んで

た。このように未だ日本は敗戦国の呪縛から抜け出せず、世界で一番綺麗で、そのまま飲める地下水でさえ汚染されてしまったのです。地元の湧水を飲んで育った私としては本当に悲しくやりきれない思いです。

以上の大木を伐り、都民の憩いの場を無くそうとしています。私がいま担当している現場は高井戸にある学校です。学校の前には大きな林が有り、夏の暑い時に工事を行いました。林から心地よい風が吹き良かったので、余談ですが、現場の近くに具志堅用高宅と旧松本清張宅もあります。

【国③分会・古谷 文夫】日比谷公園に神宮外苑と同じ事が起ころうとしています。公園を潰し100年

多摩西B 青年部京都研修 棟梁の仕事「継」学ぶ

【国②分会・玉井 陽市】京都にて宮大工の匠弘

堂、京建労の研修に参加しました。1日目、匠弘堂の初代棟梁岡本弘氏より「誠・感・備・学・謝・順・礼・能・謙・束・命・継」の十二の教えを学びました。それぞれの漢字に岡本氏の思いが込められています。その中で「継」は「継手や仕口」というものは各部材を連結させて力を伝える方法で、大工技術もしっかり継いで次の世代に伝えるのが棟梁の仕事」と習いました。匠弘堂は宮大工として初めてサイトを作られたと聞き、古きを知り新しきを知る」の様な、宮大工という伝統を守り、ネットという新しいものにも挑戦する凄さを感じました。2日目、京建労の研修を通じて、質上げなどの建築業界の課題を学び、話し合いました。私自身も組合の良さを活用し、みんなで課題を解決していこうと感じました。

【長楽の会・篠崎 弘】11月5日の朝、19人の会員の皆さんと迎えるバスに乗り出発。早速ビルで乾杯です。関越道で法水寺という寺院を目指します。佛光山寺は台湾最大の仏教宗派の寺院で法水寺は日本の総本山。昼食の水沢うどんを食べ、奈良俣ダムを見学しホテルに到着。夕食時は、

時間を忘れて皆さんと大いに交流しました。翌日は、「近代日本経済の父」と称される渋沢栄一の生家と記念館を「次の一万円札の人か」と思いながら見学しました。渋沢栄一が関わった企業には清水建設や大成建設も含まれています。一儲けのみを求めたのではなく、公共の利